

グローバル・コミュニケーション研究所 2016年度 活動概要 2016.4～2017.3

著者	グローバル・コミュニケーション研究所
雑誌名	グローバル・コミュニケーション研究
号	5
ページ	167-171
発行年	2017-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1092/00001798/

グローバル・コミュニケーション研究所
2016年度活動概要
〈2016.4～2017.3〉

刊行物

- 『GCI キャンパス・レクチャー』第4号(2015年度講演会報告集)
 - シルク・ドゥ・ソレイユの舞台裏
(クロード・ブルボニエール Claude Bourbonnière)
 - 被爆二世アーティストの挑戦
——芸術平和的思考によるコミュニケーションより (田中勝)
 - アメリカ政治の中の討論／ディベート
(セオドア・シェッケルス Theodore F. Sheckels)
 - 国境の島の国際交流
——朝鮮通信使を掘り起こした対馬市の試み (阿比留正臣)
 - ヨーロッパへの移住と増大する移民に対する不安
(スティーブ・クラウチャー Stephen Croucher)
 - 言語に対する行動 (ビョルン・イエルスッド Björn H. Jernudd)
 - 日本外交における日中韓協力——その意義と課題 (藪中三十二)
 - 東日本大震災を忘れない
——『東北の新月』を通して (リンダ・オーハマ Linda Ohama)
 - 映画字幕翻訳の世界と英語習得 (戸田奈津子)
 - JICA と国際協力
——青年海外協力隊創設五〇周年からの新たな歩み (吉田憲)
 - 日米交歓ディベート報告:
日本は日米安保条約を破棄すべきである。是か非か。 (田島慎朗)
 - 「留学生と語る」オープンディスカッション:
伝え合う文化と言葉 (松本陽子)

「留学生と語る」オープンディスカッション:

「Intercultural Communication」という研究分野の現在と未来

(スティーブン・クラウチャー Stephen Croucher)

●『グローバル・コミュニケーション研究』第4号(特別号)

特集テーマ: グローバリゼーションの段階と移民の言語管理

序説:

グローバリゼーションの段階と移民の言語管理 (サウクエン・ファン)

研究論文:

多文化社会への移住による広東語話者の言語管理

——三世代のオーストラリア香港系移民の事例からの一考察——

(サウクエン・ファン)

韓国済州島における日本からの帰国者および外国人居住者の言語使用と

言語使用意識

(高映喜、今千春)

移民の言語リソースにおける管理とその変容

——二人の中国人移民のケーススタディ——

(加藤好崇)

外国人住民の評価の語らいから見るインターアクション問題

——英語公用語の環境から現実の日本社会に出るとき——

(竹内明弘)

日本語接触場面におけるペルシア語話者の儀礼的な言語行動の管理

——第三者視点による評価を参考に——

(フーリエ・アキバリ)

言語使用の評価を通してみる習慣化された言語管理の軌道

——言語学的エスノグラフィーと接触場面研究の親近性をめぐって——

(村岡英裕)

日本の外国人移住者の言語環境と言語管理

——言語バイオグラフィーの通時的・共時的語りの分析から——

(高民定)

Some Theoretical Considerations for Studying Linguistic Politeness in
Japanese (Kitamura Koichiro)

ワークショップ報告: 言語管理とプロセス研究

研究プロジェクト

- グローバル経済における LCC ビジネスモデルの再構築
代表：鶴岡公幸（本学国際コミュニケーション学科教授）
- 記憶と歴史の展示：マンハッタン計画国立歴史記念公園における原爆の表象
代表：榎本智子（本学国際コミュニケーション学科教授・当研究所副所長）
- 多文化間コミュニケーションにおける配慮と方略的な言語行動の研究
代表：北村孝一郎（本学国際コミュニケーション学科語学専任講師）

GCI キャンパス・レクチャー・シリーズ講演会

- 第 38 回（5 月 23 日）「Culture, Connecting, Communication: Acquisition, Relationship, Analogues in Our Cultural Values」
John Condon（ニューメキシコ大学名誉教授）
司会：榎本智子（本学国際コミュニケーション学科教授・当研究所副所長）
- 第 39 回（5 月 24 日）「気候変動にも負けない地域づくりをめざして」
伊能まゆ（NPO Seed to Table 代表）
司会：岩井美佐紀（本学アジア言語学科ベトナム語専攻教授）
- 第 40 回（5 月 26 日）「米大統領予備選とメディア報道」
我孫子和夫（当研究所客員教授）
司会：高杉忠明（本学英米語学科教授）

- 第41回(10月3日)「朝鮮学校ではどのような教育が行われているのか——民族教育と地域共生の取り組みについて——」
金有燮(千葉朝鮮初中級学校校長)
司会: 林史樹(本学アジア言語学科韓国語専攻教授)

- 第42回(10月11日)「難民の運命」
Kim Thuy(ベトナム系カナダ人作家)
司会: 仲村愛(本学英米語学科非常勤講師)

- 第43回(12月13日)「世界と日本の難民問題」
本学ボランティアセンター後援
滝澤三郎(元国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日代表、東洋英和女学院大学大学院客員教授)
司会: 水野孝昭(本学国際コミュニケーション学科教授)

- 第44回(1月18日)「国連の歴史と役割、これからの日本、世界はどうなる! ——大使が神田外語の学生に期待すること——」本学グローバル推進室・神田外語いしずゑ会共催
吉川元偉(前国連日本政府代表部特命全権大使)
司会: 久保谷富美男(本研究所教育担当)

オープンディスカッション

- 第10回(6月14日) 留学生と語る! 「Voicing our Opinions in Organizations」
Discussion Leader: Stephen Croucher (Professor, Department of Communication, University of Jyväskylä)
ディスカッション協力:
本学留学生別科「Sociolinguistics」クラス生

グローバル・コミュニケーション研究所 2016 年度活動概要

本学 Certificate Program in Japan Studies 「Japanese Religious」履修生
コーディネーター：サウクエン・ファン（本学国際コミュニケーション学
学科教授・当研究所所長）

●第 11 回（12 月 9 日）留学生と語る！「私の言葉の使いわけ」

話題提供者：

Kassandra Louise Lotivio

Manuel Marquez Lara

Laura Canca Portilla

Miriam Isabelle Nilsson

甄真

コーディネーター：サウクエン・ファン（本学国際コミュニケーション学
学科教授・当研究所所長）

幕張新都心公開セミナー

- 「南アフリカにおける移民・難民受入れと統合の課題」 ジェトロ・アジア
経済研究所共催
佐藤千鶴子（ジェトロ・アジア経済研究所研究員、本学英米語学科非
常勤講師）

学生プロジェクト

- 第 2 回「さりげない外国語キャンペーン」『俳句を作ろう！』コンテスト
開催
- 第 3 回「日本社会の多様性（diversity）」『食神の達人：スパイス』ポス
ターコンテスト開催